



南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成26年7月18日

校長 福田 俊彦

健康・安全な生活を創る

校長 福田 俊彦

7月14日の全校朝会で話したことです。

夏休みまでの登校があと5日間となりました。この5日間でしなければならないことが2つあります。一つは、新しい学年になって決めた自分の目標についてです。何ができるようになりましたか。そのためにどのような努力をしてきましたか。もう一歩がんばることは何ですか。もう一つは学級の目標についてです。みなさんはよりよい学級にするために学級生活を創ってきました。どのくらい学級の目標に近づきましたか。自分の目標、学級の目標を9月につなげることが大切です。振り返りを夏休み前に必ずします。

夏休みは、これまでの生活・学習の成果や課題を踏まえ、9月の生活・学習につなげていく期間です。そのことを意識できるようにと話しました。

さて、今年度の夏休みは、工事の関係で例年とは違った行事の予定になります。例年通りに実施されないこともあります。夏休みの予定をご覧ください。また、家庭、地域で過ごす時間が長くなる夏休みです。子供たちにとっては、より高い社会性や自立性を身に付ける時間にもなります。しかし、子供たちを取り巻く環境は、安全なものばかりではありません。危険が考えられる場面もあります。学校では今年度も「自分の命は自分で守る」という意識を高め、危険を回避する力を身に付ける指導を積み重ねています。交通安全教室、セーフティ教室、情報モラル講習会（5年生・保護者）、避難訓練や一斉防災訓練、学級活動における夏休みの安全な過ごし方の学習などです。夏休みにおいても、「自分の命は自分で守る」という意識を継続してもてるよう以下の点につきまして、お話をいただければと思います。

- 防犯ブザーを携行する
- 「いかのおすし」の行動ができる
- できるだけ複数で行動する
- 家に入る前、エレベーターに乗る前には周りを見る
- 正しい自転車の乗り方、正しい道のわたり方をする
- インターネット、携帯電話などによるトラブルにあわない

子供たちが「早起き、早寝、朝ご飯」のもと健康で安全な夏休みの生活を送り、9月をスタートできますようご理解とご協力をお願いいたします。